

平成22年度 第2号

PTA会報

発行日 平成23年2月25日
発行 京都府立久美浜高等学校PTA



京都府立久美浜高等学校PTA

御挨拶

PTA会長
安川 郁夫

昨年、PTA会長を受けさせていただいてから、校長先生、副校長先生そして諸先生方の御指導とPTA役員、会員の皆様の御支援、御協力で何とか一年を終えようとしています。

何年ほど前だったでしょうか、私の高校時代の同級生だったお母さんと中学校で顔をあわせる機会があり、その時に「自分たちの親の時代は中学や高校の学校行事にこれほど関わってなかったように思うけどな。」という趣旨の話をしたところ、「今の子どもたちはテレビ、インターネット、携帯電話、出版物などいろいろな情報に取り囲まれていて、私たちののんびりした学生時代とは環境が全く違う。だからせめて高校を卒業して親の元を離れるまでは学校にも顔を出して、子どもたちをしつかり見てないとあかんと思うよ。」とピシヤリと言われたことがあります。

今から思うと、この同級生は随分と洞察力に富んだ責任感の強いお母さんだったと思います。

このお母さんと同じ思いを持っておられる方も多いと思いますし、PTA行事は学校での子どもたちを「しっかりと見る」機会のひとつだと思います。



しかしこの一年、自分の力不足で会員の皆様には行事に参加していただく十分な工夫ができず、先輩役員のみなさんが作り上げてこられた行事を消化することで精一杯でした。

それでも自分なりにPTA行事を通じて収穫できたことは多くありました。体育祭で競技や応援に一生懸命に打ち込む顔、文化祭の模擬店で思春期真っ盛りの男子や女子が沢山買いに来てくれて「辛いけどおいしい」と気さくに話してくれた顔、持久走の給水で「もう一杯もらっていいですか」と顔を赤くしながら頑張っていた顔など、皆さんの素直でシャイな生徒たちの顔に接することができました。そして地区対抗親睦球技大会では多くの会員のみなさんと交流することができました。

その一方で、会員相互の交流を深めるための「地域別懇談会」では家庭の子どもたちの様子や、参加者の皆さんからの厳しい問題提起などをいただき、高校PTAの奥の深さに考え込むこともありました。

今後、日本は内外ともに激しい競争にさらされ、ますます厳しい社会になっていくと言われています。子どもたちにはそういった社会を生き抜いていくための一層の努力と精進が求められますが、そのための実力を子どもたちがこの久美浜高校で十分に培い、蓄えることができるよう学校、PTAそして地域が一体となって協力していくことをお願いして御挨拶とさせていただきます。

この一年間本当にありがとうございました。

御挨拶

校長
小田 滋夫

PTA会員の皆様におかれましてはますます御健勝のことと御拝察いたします。今年度も安川会長様を先頭に、活発なPTA活動をとおして本校教育の発展のために、御支援をいただきありがとうございます。3年生の保護者の皆様におかれましては、お子様の卒業、誠におめでとございます。心からお祝い申し上げます。旅立ちの今日、手塩にかけて育てて来られたお子様の健やかで逞しい姿をあらためて眺められ、その感動もひとしおではないかとお察しします。

卒業されるお子様はそれぞれ志や夢を抱いて、その実現に向けて頑張るぞと期待に胸を膨らませながら、今、旅立ちとうとしています。人生の大きな節目の一つです。在校生の保護者の皆様も含め、このような節目、機会を利用してお子様の更なる成長に向け、膝を突き合わせて、お子様の未来や将来設計などについて話し合ったり、経験談も交え適切なアドバイスをしたりしていただくようお願いいたします。近い将来始まるうとしている一人暮らしやその



際の健康管理も大切な話題の一つです。巣立ちの前にしっかりと時間をとっていただき、さらに家族のきずなを強めていきたく存じます。

どんな仕事を成し遂げるにしても、その前提として欠くことの出来ないのは健康です。大した病気にかかったこともなく、若さあふれる生徒の皆さんには、その大切さは実感できないかも知れません。しかし、健康管理の主体者は親でもなく、養護教諭の先生でもなく、皆さん一人一人に他なりません。健康を失ってから悔やんでも後の祭りです。御親子共々、次のリストを参考に、定期的にチェックする習慣を心がけていただければ幸いです。忙しさにかまけて、チェックを怠っていると取り返しのつかないような状況を招いて後悔することになります。

- 食事は毎回規則的に、新鮮で良質なものを豊富に摂取しているか。
 - 睡眠時間は毎日十分確保して、適度に休息を心がけているか。
 - 無理にならない適度な運動を継続しているか。
 - 周りの人と積極的にコミュニケーションしたり、心遣いしたりできる気持ちの余裕があるか。
 - 毎日、新聞を読んだり、読書にいそしんだりしようとしているか。
- 幸せな人生は健康から。皆さんの未来に幸多からんことをお祈りします。

平成22年度 PTA事業

| 月 | 日旬 | 事業名 |
|-----|---------|-------------------|
| 4月 | | |
| 5月 | 8 | PTA初総会 |
| | 21 | 市P協議会久美浜ブロック初総会 |
| 6月 | 6 | 府丹後地方PTA指導者研修会 |
| | 10 | 府立高校PTA連合会総会 |
| | 17 | 体育祭参加 |
| 7月 | 13 | 府P指導者中央研修会 |
| | 20 | 「PTA会報1号」発行 |
| | 23 | 国道178号道路改良促進期成会総会 |
| 8月 | 9 | 千日会巡回指導 |
| 9月 | 2・3 | 文化祭参加(模擬店) |
| | 29 | 交通安全指導 |
| | 30 | |
| 10月 | 17 | 親睦球技大会 |
| | 29 | 校内持久走大会給水活動・応援 |
| | 13 | PTA指導者研修会(両丹ブロック) |
| 11月 | 29~12/9 | 次年度本部役員立候補受付 |
| 12月 | 3 | 全P連近畿地区研修会 |
| | 20 | PTA会報増刊号発行 |
| 1月 | | |
| 2月 | 19 | PTA年度末総会 |
| | 25 | 「PTA会報」2号発行 |
| 3月 | 28 | 有線放送(PTA活動報告) |

地区懇談会

平成22年度 PTA会計中間決算書

(22.4.1~12.31)

【収 入】

| 科 目 | 中 間 決 算 額 | 備 考 |
|-------|-----------|-----------------|
| 繰越金 | 660,683 | 前年度より繰越 |
| 会 費 | 954,000 | @3,000×318名 |
| 活動補助金 | 18,000 | 府P連補助(交通安全啓発事業) |
| 雑 収 入 | 70,657 | 貯金利子 模擬店売り上げ |
| 合 計 | 1,703,340 | |

【支 出】

| 科 目 | 中 間 決 算 額 | 備 考 |
|-----------|-----------|-----------------------------|
| | 405,788 | |
| 運 営 費 | | |
| 会 議 費 | 790 | 役員会・総会 |
| 活 動 費 | 242,683 | 学校祭模擬店 持久走・全高P連賠償掛金・球技会等 |
| 事 務 費 | 4,065 | 郵券代・振込料・消耗品 |
| 旅 費 | 0 | |
| 会 員 研 修 費 | 16,000 | 府P中央・府高P連・両丹ブロック 参加 |
| 負 担 金 | 69,500 | 府高P連・市久美浜ブロック協力金 |
| 広 報 費 | 57,750 | 会報発行 |
| 慶 弔 費 | 15,000 | 会員慶弔費 |
| 補 助 費 | 137,054 | |
| 進路指導費 | 3,700 | 進路指導参考図書 |
| 学習指導費 | 27,000 | 学習指導資料 |
| 保健指導費 | 14,364 | 健康教育・校内掲示資料・参考図書 |
| 生徒指導費 | 21,740 | セミナー講師謝礼・旅費 |
| 表 彰 費 | 0 | |
| 人権教育費 | 0 | |
| 雑 費 | 70,250 | 模擬店売り上げ生徒会へ |
| 予 備 費 | 0 | |
| 合 計 | 542,842 | |



PTA親睦球技大会



文化祭模擬店



模擬店「ママス&パパス」

PTA親睦球技大会

〔グラウンドゴルフ〕

◆日時 十月十七日(日)
◆参加者 五十二名(八チーム)

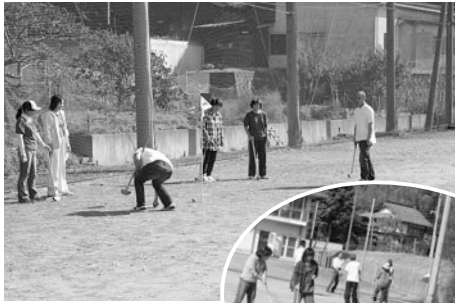
久美浜高校グラウンドにおいて、PTA親睦球技大会を実施しました。今年ソフトバレーボールの申し込みが少なく、グラウンドゴルフのみ実施しました。五十二名の方に御参加いただき、親睦を深めながらにぎやかに楽しくプレーしました。



参加者の感想

初めてPTA球技大会に参加しました。普段身体を動かすことが苦手な私でも楽しく参加することができました。上手、下手など関係なく、よく笑ったひと時でした。最後には、賞品もいただき、参加賞も豪華でびっくりしました。来年も参加してよろしいでしょうか？

今年は夫婦で参加させてもらいました。順位関係なく、喋って笑って日頃話す機会の少ない方との交流もあり、楽しい時間をすごさせてもらいました。ありがとうございました。



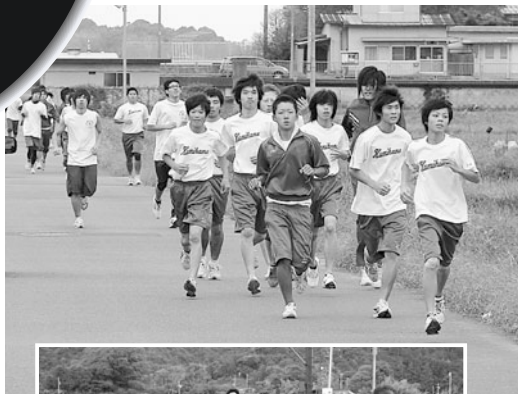
校内持久走大会 給水活動

◆日時 十月二十九日(金)
◆参加者 五名

校内持久走大会が実施され、応援と共に給水活動を行いました。スポーツドリンクを渡すと生徒から「ありがとう」の言葉をたくさん聞くことができ、逆に元気をもらいました。生徒と交流ができ、楽しく取り組むことができました。

参加者の感想

久しぶりに、息子の走っている姿を見られて感激しました。長距離なのに、とても楽しそうに走っていたので、びっくりしました。完走おめでとう。そしてお疲れ様でした。



PTA行事

府立学校PTA指導者研修会 (両丹ブロック)

◆日時 十一月十三日(土)

◆会場 みやづ歴史の館

◆参加者 百二十九名

(府立高校十二校、府立養護学校三校)

◆内容 講演

●演題 『ママさん落語家
子育て奮闘記』

●講師 桂 三扇 氏(福知山出身)

「手をかけず、目をかけましょう」と、二女の子育てに奮闘する自らの日常を落語仕立てにお話されました。

○分科会

「家庭教育とPTA」

発表校は、峰山高校でした。PTA組織の紹介のあと、PTA活動について述べられました。

「学年PTA」「PTA会報(三回発行)」「交通マナー向上あいさつ運動」「進路研修」「会員研修」など、中には久美高PTAでは取り組んでいない事業もありました。



参加者の感想

PTA行事に多くの会員が参加することで、会員同士の話題も増え、わが子や高校生を見る目が肥えてくるということがポイントであると思いました。両丹ブロック研修は、一番身近な研修でもあり、役員以外の人も参加するとPTA活動が充実してくると思います。



参加記

朝の交通安全 あいさつ運動

◆日時 九月二十八・三十日

◆参加者 九名

PTA本部役員を中心に教職員と共にKTR甲山駅前や橋爪のバス停前で朝の登校指導を行いました。そこから自転車で登校する生徒や徒歩で登校する生徒に元気な挨拶を呼びかけたり、一列走校を指導しました。

参加者の感想

甲山駅で交通安全指導を行った。といつても、KTRで通学する子に「おはよう」と声をかけるのが精一杯で、とても指導なんてできませんけれど…。

生徒たちも今日は何事?おははながいるなーみたいな感じで通り過ぎる。元気に挨拶する生徒や無言で通り過ぎる生徒、朝から談笑する生徒。自転車もあれば徒歩もあり、バスで通学する子も。朝の一日の始まりのひとコマは、それぞれ青春時代を過ごしているなあとまぶしいかぎりだった。



A 組担任 鳴海 光則

自分を信じて

皆さんは「努力の壺」を知っていますか？人が何かに挑戦しようと決心したとき、どの人にも公平に「努力の壺」

が天から与えられるという話です。ただし、その壺は大小様々で、私たちに見えません。努力1回につき

水は1滴ずつしか入りません。小さな壺は、すぐにいっぱいになります。大きな壺を与えられた人はその何倍も努力をしないといけません。最初

のうち、1滴、2滴の水を入れても水は増えた気がしませんし、あとどれだけ入れたらいっぱいになるのか見当が付きません。そしてどれだけ

けたまっただのかを見ることもできません。途中で「こんなに頑張っても進歩が見えない」とか「無駄なこと

はやめよう」「やっぱり無理だ」と疑問をもち、やがてそのつらさや苦しさに耐えられなくなり、水を入れることをやめてしまうことがあります。

辛いところを我慢し、頑張つて水を少しずつでも入れ続けていけば、確実に壺に水はたまっていくのです。そしていつか壺いっぱいになって、あふれ出るとき、目標が達成されるのです。

皆さんは今、やや不安を抱きつつも大きな希望に胸膨らませていることでしょうか。今までは多くの同級生

がそろって行動をし、周囲の大人から指示をされる場面が多かったと思いますが、これからは自分で判断をする機会が次第に増えていきます。今やるべきことを考えて、自分から行動できる人になって欲しいと思います。

どんな場面に直面しても皆さんは、この久美浜高校で培ってきたものを十分に発揮し、乗り越えて行くものと信じています。何年か後に遅く成長した皆さんの笑顔に会えれば、これほど喜ばしいことはありません。今後の健闘を切に祈ります。



祝卒業!

担任団より贈る言葉



A組担任
鳴海光則先生

B組担任
小西鉄也先生

C組担任
林直宏先生

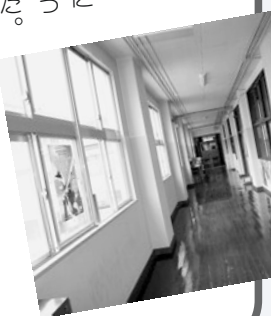
学年部長
木村嘉宏先生

C 組担任 林 直宏

一期一会

入学当時の初々しい姿を思い浮かべると、時が経つのは早いものだとつくづく感じます。私自身、初めて久美浜高校に赴任し、高校教員としてのスタートを切りました。当初は

三年前に丹後に戻ってきました。高校時代のクラスメイトで丹後に戻っている者も多く、それぞれ活躍しています。そして一旦集まれば、気



B組担任 小西 鉄也

贈る言葉

久美浜高校で過ごした三年間を君たちはどのような思いで振り返っているのでしょうか。三年前、期待と不安を抱えながら久美浜高校の門を潜った時に似た感情を今も君たちは抱いているのではないのでしょうか。

これから始まる新しい生活に心躍らせる気持ちとこれまでの自分が積み重ねてきたことにまだ自信が持てないという思いが交錯しているのではないのでしょうか。「はじまり」と「終わり」の時に気持ち晴れやかに世界良好なんてことはなかなかないようです。

100mの徒競争をするときには誰でも最高のスタートを切りそのスピードを維持したままゴールをしたいものです。しかし、それが出来る人間がこの世の中にどれだけ存在するのでしょうか。君たちにはそれやっつける自信があるのでしょうか。私にはありません。

それでも今まで生きてきた中でその徒競走を楽しむ術を君たちは身に付けてきた筈です。それは誰かと語らうこと、誰かを想うこと、そして、学ぶことです。言うまでもなく100m徒競走は人生そのものです。徒競走を誰とも違う方法で楽しむことこそが誰よりも速いタイムで100mを走ることよりも大切ではないで

しょうか。久美浜高校で過ごした三年間には人生を豊かにするヒントが沢山詰まっていた筈です。

人生はこれからです。君たちの可能性は無限大です。思いが強ければ世界中のどこへでも行きたいところに行けるのです。目標がしっかりとあれば、成りたい自分になれるのです。世界に目を向けるとそれらを叶えやすい環境に私たちが暮らしているのです。与えられていないものを欲しがることよりも今の自分をつかり見つめることに力を注いでください。君たちは人懐っこい笑顔と純粋な目を持っています。人が羨むような大切なものを持っているのです。私にとって君たちと過ごした時間は余りに少なく、今はこの出会いをこれからも大切にすることですが、君たちへの感謝を伝えることができませぬ。まだ、君たちと教室で語り合いたいと心残りなことがあります。先に述べたように「終わり」の時に心が晴れやかなことは、やはりなかなか無いようです。

久美浜高校を去りゆく君たちに思うことは、どうか、君たちのこれらの人生が豊かでありませう。そして、丹後が育んだ大らかな心がこれからも大切にされますように。心から願っています。



学年部長 木村 嘉宏

始まりのつゆ

我々は展望をもつことで、変わっていくことができる。今、正に始まりのときです。皆さん一人一人の成功をお祈りしています。

保護者の皆さま方、いろいろとありがとうございました。意に沿わないこともあったと思いますが、多大

千日の学業の成り立ちゆめく
子らに手をふる幸多かれ



ただがむしゃらに毎日をこなしていたといった感じで、頼りない担任だったと思います。

高校生活を振り返った時、何が君たちの心に残っているのでしょうか。体育祭、文化祭、持久走大会、修学旅行：その場面には同じ久美高生の仲間の顔があるはず。それぞれが色々な思いで入学してきた久美浜高校だと思えますが、そんな色々な個性が一つの場所に集まり、学び、貴重な経験をしたのだと思えます。そして、これからそれぞれに巣立っていく君たちにとって、高校時代までの出会いや経験は、君たちのルーツ（根）になっていきます。共に過ごした仲間というものは、同じルーツを持った者として、共有できる面を持っている仲間となります。久美浜高校での出会いをこれからも大切にしていってください。私自身も母校の高校を卒業し、色々な道を経て

軽に話せる仲間です。卒業というところで、久美浜高校に集まった仲間とは離れ離れになってしましますが、それぞれの場所でも、また新しい出会いが待っています。人との出会いだけでなく、新しい環境や学問、趣味等、色々な出会いがあると思います。出会いは楽しい。そして出会いは人を成長させてくれます。色々な出会いの中で考え、悩み、自分を成長させる糧にしていってください。私自身、大学時代にお金をためて海外を一人で旅し、色々な人や考え、違う国の文化等に出会いました。それまで考えもしないような世界がそこにあったり、とても刺激的で楽しく、時には考えさせられ、自分自身の視野を大きく広げることができたと思います。色々なものに出会い、考え、努力し、自分を成長させていってください。





卒業する我が子へ 頑張ってきた 我が子へ

保護者より

早

育ても終わりの時が見えてきました。幼児期には、夢や希望に満ち溢れ、今思えば、私に不満を表すようになつた思春期、

自立を迎えその中では後悔や反省といろんな思いがありますが反抗期も過ぎれば思い出となり、子どもの成長と共に私も成長していけたと思います。これから先長い人生の中いろんな壁があると思いますが、乗り越えていけるように日々、努力し前進していつてほしいと思います。

早

来年三年生になろうとしています。高校生活は、きわめて充実しているようで学校が楽しいと言っております。友達もひんぱんに家に連れて来るのでありがたいことだと思っております。



最近、特に友達思いの子だなあと思える事が多々あります。それはとてもいい事でこれからは相手の気持ちがかかる子に成長してほしいと思います。

同

友達も少なく、新しい友達ができるかなとか、学校生活を楽しく過ごせるのかとか色々心配ではありましたが、毎日そこそこ楽しそうなのでホッとしています。我が子には久美浜高校の雰囲気があつたのかなと思います。

なんとか三年間、列車通学を頑張つてもらつて楽しい高校生活を送つてもらいたいなあと思います。

最

初久美高に入学した時は、どう成長するかと思われましたが、クラブに入り、勉強も一生懸命にしました。

成績も上がり、マラソンも頑張つて走り、ある

時は野球の試合の応援にプラバンで行つた時、徹夜して宿題してから応援に行きました。昔ならあんなに根性なかつたのにも思います。娘がある時ふと「久美高に行つて良かった」とつぶやいていました。久美高の先生方有り難うございました。

久

美浜高校へお世話になり早や三年。良き友に出会い励まされたり、学んだり助けられた事も沢山あつた事でしよう、感謝しています。今までの事を糧に前向きに進んで強い心身に付けてほしい。決して簡単ではないに決まっています。毎日の積み重ねの中で編み出して行けるもの。良き人生へ突き進んで言つて下さい。



入

。学して早三年、クラブを通してたくさん友達も出来、充実した高校生活が送れてよかったネ。

今

。は進路も決まり、親としてはホッとすると同時に卒業してから、やっていけるかどうか不安だらけだけど、クラブで培った体力、精神力で頑張つてほしいです。

先生方には、色々お世話になりありがとうございました。

来

。年四月には親元を離れて夢に向かって一歩を踏み出すわけですが、しっかりと一人で生活していくことができれば、これからは不安になりません。あと半年もない今になってあれも教えておかなければ、これも身に付けさせねばと気がばかりあせるこの頃です。あなたはと

いうと、多少の不安はあっても新しい生活への期待の方が大きいようですね。離れて暮らすこ



とは淋しいですが、あなたが夢を実現できるように応援していきます。

真

。夏の炎天下やみぞれ混じりの冷たい雨の中でも、久美浜湾で黙々とパドルを漕ぎ続ける君のその姿には

我が子ながら感心しました。久美浜高校での力又一部との出会いは君に大きな影響を与えたようです。日増しに逞しさを加える体と振る舞いや行動は、入学当時とは違い随分と変わってきたように思います。そこでは、自身でも認めているように、かかわっていたけど多くの先生や先輩との出会いそして同級生とのふれ合いが大きな刺激となつたようです。時には大変な苦悩があつた事でしょうが、愚痴も零さず3年間を頑張りぬいた君に家族全員で拍手を送ります。これからも多くの辛いことに出会うと思いますが、久美高で培った体力と精神力で十分に乗り越えられる事が出来るでしょう。そして、ここで

お世話になった多くの人達に感謝し、これからも目標に向かって一生懸命物



事に当たってくれる事を期待し、君へ贈る言葉とします。

貴

。重な高校生活はどうだったでしょう。親が思っているよりもずいぶん成長したんだなと思う所や、やっぱりまだ子供なんだなと実感する所があります。大切な友達・自分の想いをたくさん持つて、これからまだ

まだ人生、山あり谷あり希望ありの人生を悔いのない様に歩いていって下さい。これからも母は貴方の応援をしていますよ。沢山の人と出逢い助け合いながら、胸を張って！今までよく頑張りました。そしてこれからも夢に向かって！



久

。美浜高校の一番いいところは、先生と生徒の距離が近いところだと思います。二人の子をお世話になりましたが、中学校の時は低空飛行の成績もなぜかそこそこになり、高校で将来に希望が持てるようになりました。高校では面白い先生、熱心な先生と出会い、そして真剣に進路を支えてくださる先生方。小規模であり、総合学科がいいのが、子どもの進路・個性に合わせた教育が行われているように思います。伸び率が一番の学校ではないでしょうか。卒業するにあたり、今後は手取り足取りしてくれる人や場所がないかもしれないけど、久美浜高校で受けたご恩を返せるような社会人となってほしいと思います。



思い出の 修学旅行



伊江島に着いてからは、いろいろな心配だったけど民泊をした家では、おっちゃん、おばちゃんもとてもいい人でよかった。海に行ったり、山に登ったり、港で魚を釣ったりして、とても楽しかった。海ではおばちゃんもビーチバレーをして、とてもいい思い出になった。二泊三日の民泊では、ちよっと足りないなと思った。

ごく楽しめた。



沖縄の

人との交流がこんなに楽しいとは思ってなかつたので、想像以上に楽しかったです。伊江島で牛の



宿泊している民家でアクセサリー作り

民泊は、家族の人たちと仲良くなれるかどうか心配していたけど、天然の入ったとても楽しい人たちばかりで楽しかった。いろいろな体験をさせてもらっただし、いろいろな場所にも連れて行ってもらった。沖縄の料理もいっぱい食べられたし、民泊で沖縄を満喫できたと思う。



民泊は、家族の人たちと仲良くなれる



沖縄では、伊江島が一番楽しく感じた。

山に登ったり、海に入って泳いだり、花火を見たり、天体観測をしたりすごく充実した二日間だった。特に、沖縄のきれいな海で遊べたことで、水は少し冷たかったけど、す



きれいな沖縄の海を楽しみました

世話をした時に、子牛の名前をみんな考えて「久美男」にしました。これが一番思い出に残っています。修学旅行は成功で終わっただし、楽しかったです。



おっちゃんはめっちゃおもしろくて、とても話しやすい

人だったので、民泊は自分の家みたいにリラックスできて楽しかったです。高校生活に一度しかない修学旅行に行つて、僕は人と人がふれあう感動を知りました。

伊江島に行くフェリーの中では民泊の人たちのことを考えて少し心配になってきました。

全く知らない人の家に泊まるなんて初めてのことだから。けれど港に迎えにきてくれたおじいちゃん、お



釣りをして楽しめました

ばあちゃんはすごく優しく心配が吹っ飛びました。いろんな事を教えてくれたり、連れて行ってくれて本当のおじいちゃん、おばあちゃんでした。それゆえに別れの日が辛かったです。おじいちゃん、おばあちゃんが最後に僕の頭をなでてくれて本当に泣きそつになりました。



伊江島では、海に行ったり、牛を見たり、サトウキビをと

つて、黒糖を作ったり、貝でキーホルダーを作ったり、城山にも登りました。しんどかったです。夜は、夜景を見に行ったりもしました。



ひめゆりの塔にて

寝る時は、友達といっぱい写真を撮って、笑っていました。



ひめゆりの塔を見学して、そこにある現実を、沖縄に起こ

こつた事実をどう受け止めたいのか分からなかった。沖縄で起こつたことだけれど、同じ日本に生きて、沖縄の人と何一つ変わらない自分達。他人

修学旅行日程

11月9日(火)

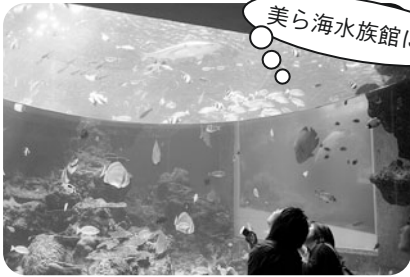
- ・久美浜発 6:10
- ・伊丹空港発 11:00
- ・那覇空港着 13:15
- ・ひめゆり平和祈念資料館 14:15
- ・首里城・守礼門 16:00
- ・ホテル着 18:00

11月10日(水)・11日(木)

- ・ホテル発 8:30
- ・沖縄海洋博記念公園(美ら海水族館) 11:00
- ・本部港(沖縄本島) 15:00
- ・伊江港(伊江島) 15:30
- ・入村式家業体験学習・島内観光
- (*12日朝まで民家泊)

11月12日(金)

- ・退村式 8:00
- ・本部港着 8:30
- ・那覇市 11:00
- ・那覇空港発 14:10
- ・伊丹空港着 16:00
- ・久美浜着 20:10



美ら海水族館にて



沖縄本島から見る伊江島



首里城にて

沖繩の歴史も知るこ
とができました。沖繩
は、日本で唯一地上戦
が行われた場所です。
そんな歴史を残す場所
を、僕は修学旅行中い
くつも見ました。楽し
いだけでなく、悲し
んだと思います。

でいた沖縄と戦争につ
いての学習も、沖縄に
行ってより深く考える
ことができました。ひ
めゆりの塔に行くまで
のバスガイドさんの戦
争の話がとても衝撃的
で泣きそうになりました。



修学旅行前
から取り組ん

事とは思えなかった。
「かわいそう」という
感情は逆に失礼になる
かなと思ったり、それ
ならどう感じて、どう
頭に収めればいいのか
分からなかった。



修学旅行で良かったことは、
普段あまり話さない人たち
とたくさん話せたことです。色々話
してみると、思っていたのと違ったりし
て面白かったです。反省点は、ちょっ

ジンベイザメは、すごく大きくて神
秘的で感動した。ジンベイザメにつ
ついていたコバンザメがなかなかかわ
いかった。マンタは、まるで空を飛ん
でいるように優雅に泳いで美しかった。
暗闇の中で光って見える深海魚や人魚
の由来となったマナティもくるくる回
って泳いでいてかわいらしかった。



ひめゆりの塔では
戦争のむごさを実感
した。展示物やそこにあられた
人の話は、ありのままを語って
いたので、その当時のことが思
い浮かんで正直つらかった。

沖縄や伊江島、アメリカの基
地についてもたくさん話を聞
けて良かったと思う。戦争につ
いても関心が深まり、戦争の悲惨さに
もっと気づくことができた。自決した
洞窟も見せてもらった。当時のままの
穴が残っていた。ものすごく残酷な場
所だった。

製作者 京都府立久美浜高等学校 森本 今



とふざけている時が
あったかもしれない
から、その点を反省
したい。



自分は修
学旅行委員
だったので準備期間
の段階で、他の人よ

りも取組に係わる時間が多かったです。
その作業は、修学旅行という楽しみの
大ききのせいか意欲的だったと思うし、
普通なら面倒くさいと思う作業でも早
く、楽しくできたと思うのでとても良
かったと思います。

修学旅行でしか体験できないこと、
沖縄だからこそできたものなどとても
良い4日間を過ごすことができました。

琉球料理や
お菓子作りを体験



※紙面の都合上、今回は文化系の部を中心に紹介いたします。

軽音楽部

〔顧問〕 田中 芙由子／寺沢 元太

軽音楽部は、平日の放課後、練習をしています。

今年度文化祭のステージ発表「KUMI高ライブ2010」では5バンド13名(かけもち有り)が約1時間のライブをしました。リハーサルで曲ごとの時間をはかり、機材の運搬も協力し合い、本番を成功させました。例年は2、3年生が優先的にライブ出演をしていますが、今年度は2、3年生に加え、1年生のバンドも出演し、一生懸命演奏しました。

今年度の活動

9月 文化祭でのステージ発表 他



吹奏楽部

〔顧問〕 田中 芙由子／友松 央樹

吹奏楽部は校内外の行事で何かと出番が多く、経験者のもとより、初心者も積極的に入部して一緒に活動しています。地域での活動を大切にしている、平成22年度は、湊地区敬老会や海部地区文化祭で演奏する機会をいただきました。

例年は3年生が引退した後、10人をきっていましたが、今年度は12名で元気に活動しています。人任せにしない演奏と、お互いに思いやりをもった行動をしています。来年度はすべてのパートをそろえて演奏できるよう、積極的に部員勧誘をしていきたいです。

平成22年度の活動

- 4月 入学式 湊地区敬老会(久美浜温泉)
- 5月 両丹高校総体壮行会
- 6月 京都府高等学校総合文化祭音楽部門北部発表会(丹後文化会館)
- 9月 文化祭 丹後吹奏楽フェスティバル(丹後文化会館)
- 11月 丹後府立高校・与謝の海養護学校交流会(与謝の海養護学校)
海部地区文化祭(海部小学校体育館)
- 2月 校内演奏会
- 3月 卒業式



【練習日】

月～金曜日放課後、土曜日

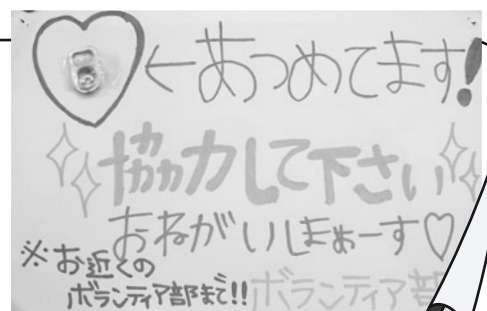
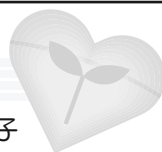
【現在の部員数(平成22年12月)】

2年生 男子2名 女子3名
1年生 男子3名 女子4名
計12名

ボランティア部

〔顧問〕 廣田 恵美／西村 知子

校内で空き缶のプルタブ回収を行っています。文化祭ではご協力をたくさんいただき、ありがとうございました。みなさまの手により、車椅子交換に少しずつ近づいていることを嬉しく思います。



華道部

〔顧問〕 山下 豊子／西村 知子



3年生部員2名が引退して、現在活動を休止しています。たくさん保管されている花器や花ばさみが、いつでも新入部員を待っていますので、今からでも華道に触れてみたいと思う生徒が来てくれることを期待しています。週に1度、静かに花と向き合う時間を持ってみませんか。



情報処理部

〔顧問〕 岡田 英人

ワープロ実務検定・情報処理検定の資格試験対策を中心に活動してきました。みんなで合格に向けて教えあいながら合格目指して頑張りました。

◎全国商業高等学校協会

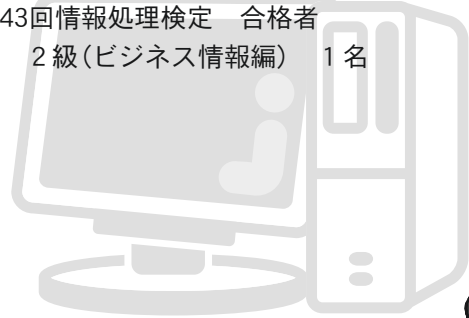
第42回ワープロ実務検定 合格者

2級 3名 3級 1名

◎全国商業高等学校協会

第43回情報処理検定 合格者

2級(ビジネス情報編) 1名



男子バスケットボール部

〔顧問〕 松下 彩／安達 栄介

日頃より本活動に御理解いただきありがとうございます。

現在、男子バスケットボール部は、3年の引退後2年生5名、1年生6名、マネージャー2名の計13名で活動しています。人数も増え、今年度は今まで以上に「勝ち」にこだわり、日々練習をしてきました。その結果、秋に行われたウィンターカップ両丹予選では、3年生の力も借りて、1回戦を突破することができました。また、1月に行われた、新人大会両丹予選では、府立工業高校に敗退したものの、確実に日頃の成果を実感できた試合となりました。

来年度もチーム内でお互いに励まし合い、切磋琢磨しながら、全員で成長していけるように取り組んでいきたいと思えます。また、技術の向上のみならず、高校生として大事なことを忘れず、成長していけるよう指導に当たりたいと思えます。今後ともご声援のほどよろしくお願い致します。



E.S.S



〔顧問〕 行待 香／林 直宏／山崎 友子



毎週月曜日と木曜日に、AETのSamantha（サマンサ）先生と、楽しく異文化や英会話を学んでいます。活動としては、ハロウィンやクリスマスのパーティーを開いたり、ゲームや歌や、場面を設定した英会話の練習を通して、楽しみながら、かつ英語力がアップするように日々がんばっています。

また新たに、修学旅行で訪れた沖縄の観光地の英語でのガイドの作成にも取り組んでいます。

少人数ではありますが、AETのサマンサ先生といつも和やかに活動をしています。英語や異文化に少しでも興味のある生徒たちに是非E.S.S.に入部してもらい、部員数を増やし、ますます活発な活動ができるように努めたいと思います。



会員の声……………

外泊について

Q 「平日でも、外泊したり、大勢の友達が出来て泊まっている。何をしているか分からないし、心配しているが皆さんの家ではどうされていますか？」

A¹ 「今時のことだから金曜や土曜の夜だったらいいのではないですか。」「送り迎えもさせてもらっているが…」

A² 「相手の親御さんと連絡を取り合いながらならそこまで心配しなくても良いのではないのですか。」

A³ 「うちはだめだと言っている。子どもが好き勝手していると親として責任をもてないし、子どもたちの部屋に行って指導することもできないので、やはりだめと言いつつが親の対応として良いと思う。」

子どもの生活リズムを崩す外泊を親が見逃すと子どもにより嫌われるのではないのでしょうか。昔も今も外泊は『させない、しない』親の姿勢をしっかり子どもに示すことが大切です。

— P T A 本部役員会 —

府P連より

高校生総合賠償責任保険 (子ども保険)の加入について

自転車事故によって高額賠償責任を求められる事例が全国的に多く発生しています。

自転車事故は交通事故全体の二割を占め、出会いがしらの事故に限れば四割を占める。

走行秩序が乱れているため、また生徒の通学用自転車を見る



と整備不良車が多くあります。従来自転車は、歩行者サイドから見られる風潮があったが、大人の乗り物(車両)という意識を持って整備された自転車を規則を守って使用しなければなりません。今一度自転車使用について振り返ってみてください。

府P連では保険への加入を薦めており現一・二年生の途中加入もできます。詳しくはPTA担当にお尋ねください。

進路状況



平成23年3月卒業生

◆大学・短大について

国立大学一名をはじめ、ほとんどの生徒が推薦入試で合格をしていますが、数名が一般試験に向けて頑張っています。

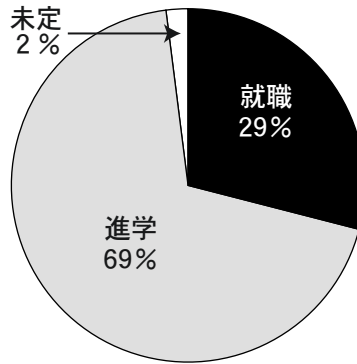
◆専門学校、大学校について

AO入試・推薦入試でほとんどの生徒が合格していますが、数名が一般試験に向けて頑張っています。

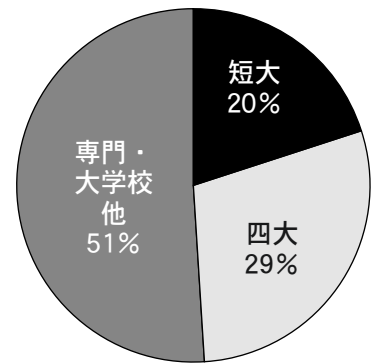
◆就職について

求人件数が激減する中、ほぼ全員が内定をいただいています。就職試験では基礎学力試験を課す会社がほとんどです。

〔進路分野別希望状況〕



〔進学分野別希望状況〕



第三体育館 12月14日 耐震工事完了



改築後

工事期間中は、車両の通行など何かとご迷惑をおかけしました。
生徒たちは、真新しい体育館で気分も新たに授業や部活動に励んでいます。

主な進学・就職内定先

【国公立大学】 和歌山大学

【私立大学】

大阪産業大学 広島産業大学 甲南大学 京都橘大学
京都外国語大学 京都産業大学 関西福祉科学大学 大谷大学 追手門学院大学 他

【私立短期大学】

華頂短期大学 成美大学短期大学部 近畿大学豊岡短期大学 大阪国際大学短期大学部 京都嵯峨芸術大学短期大学部 京都経済短期大学 京都文教短期大学 他

【専門学校】

大阪ビューティーアート専門学校 京都IT会計法律専門学校 専門学校ESPエンタテインメント 神戸医療福祉専門学校三田校 大阪観光専門学校 京都府立看護学校 グラムール美容専門学校 金沢医療技術専門学校 京都調理師専門学校 履正社医療スポーツ専門学校 他

【就職】

(株)本能寺文化会館 京都ブライトンホテル(株) ITセミコン(株)豊岡工場 (株)つばめ急便 丹後福祉会(丹後園)(特老)西陣憩いの郷 よさのうみ福祉会 京都南西病院 (株)王将フードサービス 他

編集後記

久美浜高校PTAだより第二号をお届けします。

就職氷河期といわれる現在ですが、子どもたちは将来の希望を持ち一生懸命勉強、クラブ、行事に取り組んでいます。

「高校生にもなつて、学校の行事参加？子どもが嫌がるから行かないわ！」と言われる方もありますが、是非一度参加してみてください。行事の一つでも参加することで、子どもたちからエネルギーをもらいます。このエネルギーが少しでも伝わる広報となればと思います。

ご協力いただいた皆様ありがとうございます。

広報委員会(二号担当)



自転車盗難防止ビラ配り



学 校 だ よ り

100kmウルトラマラソンボランティア



クリーン作戦



剪定講習(生産科学系列)



校内持久走大会

稲刈り(生産科学系列)



福祉まちづくり研修会(福祉系列)



洗髪実習(福祉系列)



朝読書